

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 場面に応じて、適切に情報を伝える(話す)能力が身に付いている。
- 適切に文章を読み取る力が昨年と比較して伸びている。
- 日常生活で使われている言葉の意味を理解し、適切に使うことに課題がある。

【数 学】

- 数と式の領域における基本的な知識や技能が身に付いている。
- 数の性質を説明する問題において、粘り強く取り組むことができる。
- 図形の基本的な問題や図形の性質について証明をする問題に課題が見られる。

【理 科】

- 疑問を解決するための自分の考えを記述することができている。
- 学習で得た知識を新たな場面で発揮し、科学的に予想することができている。
- 塩素の化学記号など獲得しておくべき知識が獲得できていない。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- タブレットを使用した活動において、必要な情報を集めることができる。
- 学校生活をよりよくするために、校則などの生活に必要なルールについて話し合うことができる。
- 学習習慣が定着しておらず、平日の家庭学習時間が1時間未満の生徒の割合が多い。
- 課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたりすることに課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・ 獲得すべき知識を、授業中に整理して書く時間の設定
 - ・ 各教科の終末段階において、本時で学習したことを自分なりの言葉でまとめる時間の設定
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・ タブレットによる週末課題配信を行い、実施状況の把握及び助言に努めること
 - ・ 知識・技能の定着を図るため、定期的に復習する時間の設定

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・ 修学旅行の観光地を調べて提案する活動において、タブレットを使って調べたり、資料を作成したりして実生活に結び付けてICTの活用を促したこと
 - ・ 生徒会における生活規制のディベートを通して、自治力を高め、自分たちで学校をよりよくしていこうという意識を高めたこと
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・ 短期目標を設定し、その達成に向けた計画を立てるための手帳の活用やPDCAサイクルの支援